

汐風を食べてみませんか。

山の恵みが汐風とともに、海の恵みとなってやってきました

秋のみやぎを楽しんでみませんか！

10月から12月までの期間、「仙台・宮城伊達な旅キャンペーン」がスタートします。地域が誇る歴史・文化・温泉・食材など、各地域の魅力が詰まった企画が盛りだくさんです。キャンペーンガイドブック（県全域・三陸エリア）が発行されていますので、ご覧になりたい方は産業振興課観光振興係までお問い合わせください。なお、数に限りがありますので、お早めにご連絡ください。
★県内各地の特産品が当たるスタンプラリーも実施します。ぜひご参加ください！



アサヒアートフェスティバルが開催されました！

8月28日(土)から9月5日(日)の9日間、仙台を中心にアートによる地域活性活動を行っている任意団体「ENVIS | S | (エンビジ)」の主催で、「生きる博覧会2010～夏編～」が開催されました。期間中、JR志津川駅からおさかな通りに至る約1キロの通りに、地元の女性有志らが制作した約650枚の「キリコ」が涼やかに装飾され、商店や家々のエピソードを発見しながら散策する「へえへえウォーキングツアー」、そして南三陸町の新なる魅力となる「パワースポットツアー」などが開催されました。夏の終わりを告げる海辺の町へ、遠くは関東方面からもお客さんが訪れ、南三陸町の「アートリズム」を満喫していきました。



お店のイメージや家々の宝物などを取材してキリコを1枚1枚ていねいに切り抜きました。



へえへえウォーキングツアーでは上山八幡宮の工藤宮司さんが、実際に本物のキリコを切ってくださいました。



お店の方や沿道の方々の何気ない一言が、町を訪れるお客さんにとって温かい思い出になったようです。



パワースポットツアーでは、大雄寺・神行堂山の巨石・太郎坊の杉・荒島を巡りました。見慣れた場所でも、見る視点を変えることで新たな発見が生まれました。



通りの一角には、地域のお母さんたちがボランティアでお客さんをもてなす「漬物カフェ」や庭園を空間演出した「カフェ志津川」が登場しました。どちらも素敵な空間でした。

南三陸時間旅行サポートセンターからのお知らせ

ガイドサークル「汐風」で、南三陸の魅力にもう一度ふれてみませんか？

ガイドサークル「汐風」では、地域資源の掘り起こしと磨き上げを目的に、様々な活動を行っています。会員は随時募集していますので、興味のある方は、ぜひ定例会に参加してみませんか？お待ちしております！

10月12日(火)	定例活動「南三陸の今昔」 (19:00～街なか交流館)
11月9日(火)	定例活動「町内探訪」 (10:00～町内)
12月14日(火)	定例活動「散策マップを作ろう！」 (19:00～街なか交流館)

庄内の風⁴⁹

友好町の山形県庄内町を紹介する情報コーナー

旬の恵みと月山紅葉トレッキング

全山が紅や黄に染まるこの時期、月の沢温泉周辺も見事です。山の幸、川の幸もたっぷりあるこの季節を楽しんでみてはいかがでしょうか？



月山7合目から北月山荘までの「北月山登山コース」は約6キロメートルの森の散策コースです。9月中旬頃から草紅葉が輝き始め、やがてナナカマドが赤く染まり、自生しているキノコやアケビなど森の恵みを見つけながら、10月末頃まで森林

浴を満喫できます。トレッキングのあとは、今年3月にオープンした地元の主婦グループが運営する地産地消レストラン「やまぶどう」で、立谷沢川の水で養殖したイワナの塩焼き、旬の山菜料理など、立谷沢川流域の魅力を存分に味わうことができます。平地よりひと足早い紅葉と秋の恵みを味わいにぜひお越しください。



◇申し込み・問い合わせ 主婦レストラン「やまぶどう」(月の沢温泉北月山荘内)
営業日：毎週金・土・日曜日 営業時間：午前11時～午後3時 ☎0234-59-2137

夢大使 リレー通信⁵¹

各地で活躍する南三陸町夢大使の皆さんの声をお届けする「夢大使リレー通信」を連載しています。今回は、東京歌津会会長の千葉幸記さんです。

我が故郷「南三陸」&「茅ヶ崎」

夢大使
千葉 幸記さん
(茅ヶ崎市)



以前は、「出身地はどこですか？」と聞かれたときに、「気仙沼市の近くです。」などと答えていましたが、今は、「南三陸町です。」と答えると、だいたいの位置が分かってくれます。一方、故郷に帰って知人に会うと、「今どごいんのっさ？」と聞かれ「神奈川の茅ヶ崎。」と答えると「いいとこだね！」と言われます。

現在、私が住んでいる茅ヶ崎市は、人口約24万で湘南地方の真ん中に位置しています。東京からJRで1時間、加山雄三さんやサザンオールスターズなど、有名な芸能人の出身地でもあります。また、湘南といえばサーフィンのメッカであり、朝の通勤前にサーフィンをして出勤する人やサーフィンをするために家を買う人なども結構多いと聞きます。

南三陸町の海と言えば漁業で、海岸は養殖イカダでいっぱいですが、湘南では漁業がほとんどありません。特に、夏季以外は「誰もいない海」となり犬の散歩道と化します。湘南での海は、稼ぐところではなくレジャー感覚で遊ぶところ。漁業の感覚は稀有です。よって、海産物はほとんど市場に出ず、茅ヶ崎の「春の市民まつり」に南三陸町のわかめ類を出店すると、とても喜ばれます。数年続けて直販していますが、「まとめ買い」をするお客さんや「南三陸に

行って来たよ！」と声をかけてくれる人もいて、「南三陸ファン」は着実に増えているようです。

ところで、地方に行って「茅ヶ崎から来ました。」と言うと、「箱根駅伝に出てきますよね。」と言われる。駅伝は、東京から箱根までの片道約100キロメートルを5人でリレーします。茅ヶ崎は、中間の50キロ地点の平地コースです。市民は、テレビの通過時間帯を見ながら湘南海岸路へ向かいます。見物地点には、大学ごとの旗がひらめき、同窓会メンバーの臨時応援団でにぎわいます。町の暇なグループは、鳴り物で一杯やりながら正月気分にあやかります。もし、この箱根駅伝に南三陸町からの選手が出ることになれば「町民栄誉賞」ものです。複数人や毎年出るようになれば、全国ネットで「どんな町？」と各メディアから取り上げられることでしょう。南三陸町の男子は、箱根駅伝の選手になれる環境や素地があるように思います。このことは、歌津中学校の同窓会新聞に寄稿する予定にしていますので、興味がある方はご一読ください。お楽しみ、お楽しみ。

※茅ヶ崎駅から朝一番のJRで発つと、午前10時半ころには南三陸町に着きます。逆コースも同じこと。以外に近いです。